衛生掃除（キレイニシマショウ）は 春秋二回になる

衛生掃除は、各町村とも夏季七月頃に一斉実施しておりましたが近時衛生掃除の重点が伝染病やその他の疾病を媒介する衛生害虫の駆除におかれるようになりましたので、本年度より夏季の掃除を廃して春秋二回実施するよう向陽保健所より指示して来ましたので本町においても本年より衛生掃除は年二回実施と決定した次第です。

夏季一回の掃除より春秋二回の掃除が有効である理由は、蚊、はえ、のみ、等の衛生害虫は越年四・五月頃より多数発生し、十、十一月頃より越冬するものであって十月か四月頃の一匹を駆除することで夏季の数百、数千匹を駆除する効果に匹敵する。このため五月十月の両月に一斉掃除を実施すればその年の衛生害虫の発生率を著しく低下し、ひいては伝染予防に多大の効果をもたらすものであります。

◎春の大掃除実施日は五月十二日（日）実施区域は物集女、森本鶏冠井、上植野、西向日部落と寺戸部落全域（但し寺戸区の一部を除く）

◎大掃除実施日は、五月十九日（日）実施区域は、向日部落、寺戸部落の一部（向日町駅前より街道筋上ノ町まで）

◎五月十二日、当日雨天なれば五月十九日に実施致します。

◎本年度大掃除に樋田の殺虫薬剤の配布については後日回覧板及び新聞で御通知致します。（各部落まで出張致します。）

◎大掃除日以前に「ダンゴ」の配付をし蝿の一斉駆除を実施致しますから各家庭では御協力を願います。

大掃除にぜひやっていただきたいことは

1、空地の雑草、家屋内外のゴミ汚物の除去、便所等の掃除

2、屋内の採光と通風、床下の掃除と乾燥

3、畳、上敷、夜具等の日光曝干及宅地内の汚水溝の清掃

4、ねずみの巣の除去や通路の閉鎖

以上やって頂きたい事は沢山ありますが何分一日の大掃除日ではなかなかそうは行かないのが常です。日常ペンを持つサラリーマンや商人の方、毎日田畑で働くお百姓の方々も、この大掃除日の労働は相当こたえると見える。「ママアやった事にして簡単にやっておこう」位ですまされる。ノミ、シラミ、ダニ、蚊に蝿まで何れも不潔を住家として生育繁殖し多くの病原菌も又不潔なところがお好きらしい。一家こぞって衛生掃除も徹底的にやりましょう。

衛生大掃除の指定の日に家庭に病人があったらその当日できない御家庭では必ず町内連絡員を通じ区長のもとまでその日に届けるとともに後日是非実施するようお願いします。

教育相談室

向日町教育委員会事務局

・相談日……毎週月・水・金午後一時ー五時

・担当……野村社会教育指導主事

素直で明かるい子ども、伸び伸びとして力一ぱいにすすんで努力する子ども――そうした子どもを親として願わない方はないでしょう。ところが子どもは何かのつまずきがあると、自分の持っている能力を伸ばしていくことができなかったり、感情をこじらせて性格的な問題行動をおこしたりするようになるものです。

では、何かのつまずきとは、どんなことなのでしょうか。それは多くの場合、親が子どものもっている能力や性格を、ほんとうに理解してやらないとからくるものです。よく考えてみることと

ですが「子どもが勉強しないで困る。依頼心がつよくて気力がない。内べんけいで学校ではちっとも発表しない。よく熱ったりすねたりする。落ちつきがなくあきやすい。友だちが少なくひとり遊びの子。うそをついたりかくしたりする」など、あげてみると限りなく子どもの問題があります。がこのような子どもの問題は、けっして、どうにも仕方のない、子どものもちまえではないのです。どうして子どもの成績が伸びないのか、困った問題行動をするのか（親が不満に思うような）さけがたの事情には、それ相応の原因が必ずあるものです。

よい育ての道は、この何かのつまずきである問題行動の原因を科学的に診断して、その好ましくない原因をつきとめ、正しい指導としつけをしてやることが大切なことなのです。このような原因はさまざまで、一概にとらえることはできませんが、その主なものは、子どもがどんな家庭の雰囲気に育ったか、友だちとどのように遊んだか、だれがどのようなしつけの態度で子どもを教育したか、といったような、生育環境としつけ方の事情によるものです。そしてそれは多くの場合、親の考え方扱い方一つで、よりよいものに変えていくことができるものです。つまり「子どもを見る眼と導き方」を新しくみつけていくことが大切です。

教育相談所のしごとは、このような理解のための資料を、科学的に調べて、その導き方の相談をうける専門的な心の診察所なのです。

全國で公證人役場とは

公証人役場　二五七の
公証人　二五七

明治四十二年八月十六日公証人法が施行され公証人役場が、全国に設置され、近年の利用状況は誠に目覚しい、この公証人役場では①公正証書の作成②私署証書の認証③会社定款の認証等を取扱っている公正証書は売買、贈与、賃貸借消費貸借、遺言等の法律行為等について作成することができるが、これらの法律行為を公正証書にしておけば内容が法律に適合したものが作られ、私人の証書と違い完全な証明力が与えられ原本は公証人役場に厳重に保管され、しかも秘密が保持される、特に「一定の金額の支払又は一定の数量の代替物もしくは有価証券の給付を内容とする契約」について強制執行認諾条項を入れておけば、この公正証書の正本に公証人から執行文付与を受け裁判上の手続きを経ずに簡易に強制執行することができるので大変便利である。私署証書の認証は私人の証書が署名者本人によって作成されたものであることを認証するものである。

また株式会社と有限会社の設立に当り発起人が作成する定款は会社の本店所在地を管轄する法務局又は地方法務局の所属公証人の認証を受けなければ定款としての効力を発生しない、公証人役場では利用者から手数料を徴収するが、その額は公証人手数料規則で定められており、その他の手数料は一切不要である。なお八月一日現在の公証人役場は二五七、公証人は二五七名となっている。

お耳拝借

（官報資料より）

PTA活動

（わ）が国にPTA運動が始まったのは終戦まもない昭和二十二年であった。

（戦）後の教育制度の改革とともにPTA運動は、国民道義の退廃した中からひたすら子供を幸福に育成することを目的として始められたわけである。

（こ）の運動がわが国における教育の各般にわたる民主的発展のためまた当初から多くの困難が予想されていた新しい教育制度の実現のために果してきた役割は大きい、年とともに発展してきたPTAは今年六月の調査結果によれば東京都の未報告分を除き団体数の総計は三万九千二十三団体、会員数は千五百二十四万五千二百二十二人となっている。

（こ）のようにわが国におけるPTAは少なくとも量的、外面的にはその発展の極限に達しているといえよう。

（し）かし、ここに日本のPTAの特殊性がある。この異常とも言える発展と膨張ぶりが直ちに理想的なPTA運動を展開しているといえるのであろうか……。

（P）TA運動が健全に行われその充実が期せられるためには何よりもまずPTA会員がPTAの真の目的はどこにあるかを理解しなくてはならない。

（そ）の理解がなくただ機械的に無自覚に入会し、さらにPTAが主として学校教育との関連においてのみ考えられる限り、いつまでも学校後援会的性格がなんらかの形で残ることになる。そしてPTAは不要、学校後援会さえあればじゅうぶんだとの論も生れてくる。

（P）TAが生れて十年目を迎えるこの際PTAの現状を理解し反省して、その本質に立ち返ってみる必要があろう。

近頃の傾向とその在り方

良いと思われる点

①自分達がまず勉強しなければならないという気運が強くなってきた。

子供達は毎日新しい教育を身につけ新しい時代の物の考え方を身につけながら生長している。親達が本当に子供の教育を助けようとするためには、まず子供をじゅうぶん知らなければならず親達が、これに遅れるようなことがあれば真に子供を教育する立場にたつことができない。ほんとうに子供を教育し躾するにはまずみずからを向上させねばならないという自覚が高まり成人教育関係の行事集会が多く企画実施されるようになってきている。

③児童生徒の校外活動の面に力を入れはじめた。

学校教育がその教育的効果をあげるためには児童生徒の校外生活にまで、その力を注がなければならないのは当然であるが、従来なかなかそこまで手が及ばなかった面が多かった、この点P（父母）T（先生）が相携えてこの面に力を注ぎ校外における生活指導として部落懇談会が盛んになり、その成果をあげようとする傾向が全国的に強くなってきている。

③こどもの教育は私達の手でという考え方が強くなってきた。

従来P（父母）はともすれば自分たちの子供はT（先生）にまかせておけばよいという考え方が強く学校に依存する傾向が多かった。PTA結成後次第にP（父兄）とT（先生）の協力によって、その仕事を遂成しなければならないという自覚がP（父母）側に特に盛り上がってきている。従って会合の出席なども向上しつつあり討論の内容も漸次活発になってきている。そして何よりも学校への親しみが増し教育への正しい関心がましているのである。

④PTAのあり方がわかりはじめた。

PTAは戦後の民主的な動きとして結成されたものであるが、団体結成の本質がともすれば忘れられ、以前のような財政上の後援会的な動きがかなり強く認められる。これには色々な理由があって救けきれない点があると思われるがともかく、これではいけないというPTA本来のものへの、目が開かれてきているといえる。

⑤こども達をとりまく環境を整える動きが見られはじめた。

児童生徒の不良化防止は最近特に一般的な社会問題として大きく取り上げられているがPTAでも、この一環の運動として環境の浄化、子供の読物の整備などに力を入れる動きが盛んになってきた。子供の遊び場の設置などもその大きな仕事となり着実にその成果をあげているものが見られる。

⑥P（父母）とT（先生）との協力連繋が盛んになってきた。

PTAは元来PとTのアソシエションであるはずだが従来ともすればPAでありすぎた。Tの考えの中にPTAは自分達のために協力を与えてくれる団体であるという考えがあり、したがって会のために積極的に力を尽すという意欲がわいてこなかったのであるが、PTAの本質が認識されてくるに従ってTが自分達の仕事の重要性を自覚しはじめてきた。

⑦会員相互の理解と協力が現われはじめた。

たとえば自分の子供の問題についても会合が終ったあとで、直接受持の教師と個別に話し合うことに重点が置かれてきたが最近お互にどうすればよいかということを話し合うことによって自分の子供も他人の子供と同じ社会の子であるという点で考えてゆこうとするきざしが見えてきた。

⑧就学前の子供の教育や貧困児童の援助にのり出してきた。

PTAが対社会的な問題ととりくんでゆく考え方が積極的になってきたので貧困家庭への対策や就学前の子供をどうするかということ、さらにそれらの両親教育にまでその関心の目を向けてきたことは今後の会の大きな発展と充実のため喜ばしいことである。

悪いと思われる点

①PTAがまだ財政後援会的な性格から抜けきっていない

このことは前にあげた良い面と食い違うわけだがやはり全国的に見るとこうした傾向がまだ根強く残っていて会の気運を大きく阻げている傾向がある。学校の設備施設等を整えるために会員一人の負担を割り当てたりプール作りがPTAのおもな仕事であったりするのをよくみかける。市町村当局の行政までが自己の果すべきことをPTAに依存してすませようとする動きもあることは事実である。

②運営が役員任せであったり、会が一部のボスのために独占される危険がかなり多い。

会員たちが自分のはいっているPTAというもののたいせつなことを自覚しないところから出席がわるく、すべて役員任せとなりしたがって役員は自分たちだけで会の大事なことを決めてしまうことになる。こうしたことは例えば選挙に出ようとする人のために会の組織を利用させたり、民主的に運営されるべき会が一人の人又は一部の人々によって独占されてしまう危険がかなり多い。

③会員の出席率がわるく出る人が固定してしまう。

前項と関連するがある所ではPTA婦人という言葉が生まれる。それは一部の人々がPTAの常連となってPTAが単なる社会的な傾向になってくる。こうして固定されてしまうと増々他の人々は出席することができなくなる。なんといってもみんなの会であるからみんなが顔を合せることができるように考えられなくてはならない。

④PTAが母親のみの集会になっている。

PTAは母親だけの集りではないにもかかわらず当然父親の会でもなければならないのに、そのほとんどが母親の会となっている。父親が家業をもっているために昼間の会合に出席しにくい場合もあるが、つとめて父親の出席もできるような会議時間の配慮が必要である。最近父親学級というものを開設したり部落集会を盛んに開いて父親の関心を集めるように努力するPTAが出てきたことは、このような点のよい反省の現われと見ることができる。

⑤PTAが自分たちの勉強のための会であるとの自覚がうすい。

このことは「良い面」で既にあげたようにしだいによくなってはきているが、全国的にはいまだしの感が強いPTAはやはり成人教育委員会の役割がその中心となることが大切で一般にはそのような委員会の影がうすくなり、もっぱら財政後援の企画委員会が大きく動きすぎているようである。

⑥PTAの会費がだんだん高くなってきている。

会費については純粋にPTAの本質に沿うための経費よりも、その他の後援会的負担のための出費が会員個々に割り当てられその額が個人負担に耐えないような結果を招いているところもあることは遺憾である。こうした団体の経費というものは最低の少額にとどめることが望ましい。

向陽校の児童は今、何人ですか

「お父さん向陽小学校の児童の数知っている?」とのぶ子ちゃんがいいました。

「さあ、どれ位いるかね、のぶ子知って、もう五年生なんだからそのくらいなこと知っているだろう」

「ええ知っているわ、今日学校で社会科の時間に先生が教えて下さったわ」今度はのぶ子ちゃんが質問しました。

「向陽校の児童は、みんなで一、四四六人で学級数は三一学級もあって、その他に図書館や映写室があり広い講堂もあります」

街路灯をいたわりませう

本年の一月からみなさんの要望に応えて町内交通の頻繁な個所に百個の街路灯が設置されましたが最近この外灯が消えて真暗になって通行人が困っているところが多い。それがいたずらして点球をこわしたり電球をこわしたりしている。特にひどいいたずらは空気銃でねらい打ちして電球に穴があいたものがあった。この様ないたずらは大勢の町民に迷惑をかけるのみでなく自分のものをこわしているようなものである。皆さんの愛町心と明るい町をつくるため特に御協力をお願いします。